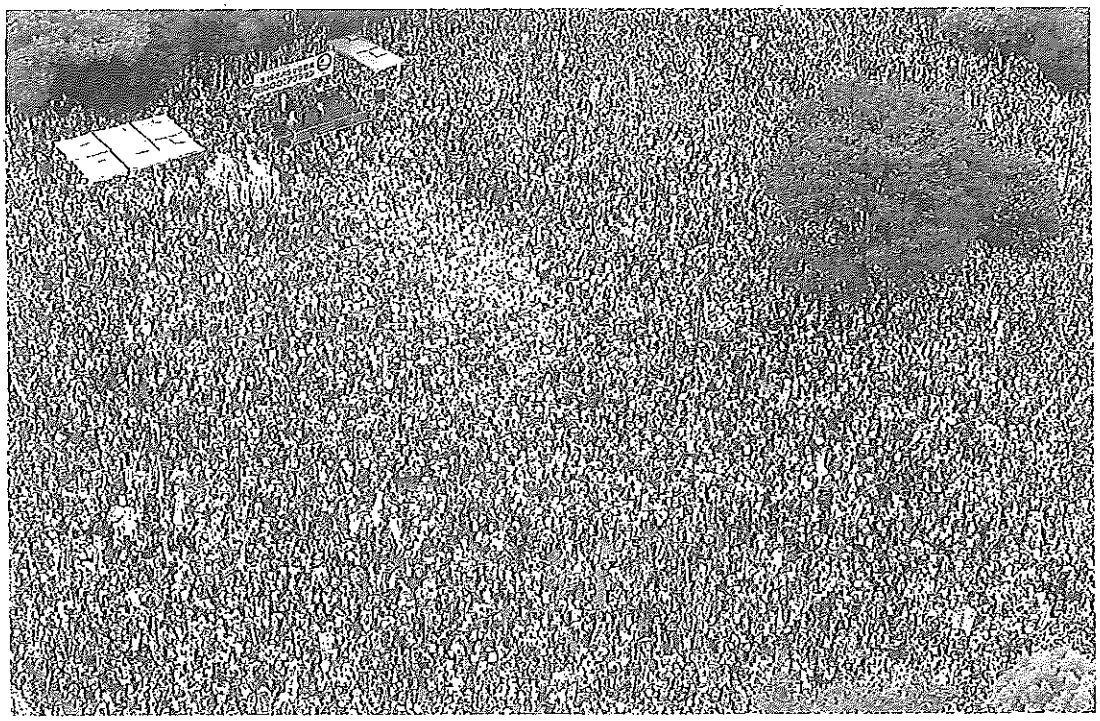
脱原発訴え 大規模集会

新宿・明治公園



東京電力福島第1原発事故を受け、原発依存からの脱却を訴える「さようなら原発5万人集会」が19日、東京都新宿区の明治公園で開かれた＝写真・本社ヘリから梅田麻衣子撮影。集会やパレードには主催者発表で約6万人が参加。原発事故後では、最大規模とみられる。（社会面に関連記事）

原水爆禁止日本国民会議（原水禁）や有識者らで構成する「さようなら原発1000万人アクション」主催。呼びかけ人の一人で作家の大江健三郎さん(76)は「原子力のエネルギーは必ず荒廃と犠牲を伴う」と語った。

俳優の山本太郎さん(36)は「今の日本の政治は一人の命や安全を無視している」と訴え、参加者とともに「原発反対、子供を守れ」とシュプレヒコールを上げた。警視庁によると、集会やパレードには約3万人が参加した。【長野宏美、山田奈緒】

土砂ダム満水の危険

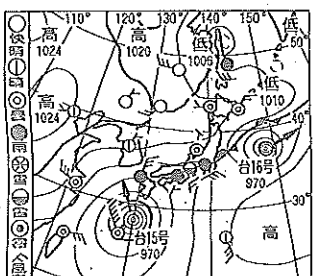
台風接近 決壊、土石流の恐れ

台風12号による豪雨で奈良・和歌山両県にできた土砂ダムについて、国土交通省近畿地方整備局は19日、台風15号の影響などで大雨が降ったことから、和歌山県田辺市熊野地区の土砂ダムについて近く水があふれる危険があるとの見通しを発表、地元自治体などに警戒を呼びかけた。土砂ダムの水位は20日午前0時現在、堤の頂上から水面まで40㍍に迫っている。水があふれると決壊し土石流が発生する恐れが高まる。

同整備局は熊野地区のほか、奈良県五條市大塔町赤谷と野迫川村北股の両地区の土砂ダムについても、早ければ20日昼以降にあふれる可能性があるとして、避難の徹底を促した。整備局は19日、熊野、赤谷両地区で排水路整備のための工事用道路の整備工事を続けた。

大阪管区気象台は、特に台風12号で被害があった地域で新たな土砂災害の発生に警戒を呼びかけている。和歌山県などでは19日夜から雨が強まり、新たに避難勧告を出す自治体が相次いだ。

気象台によると、日本海から秋雨前線が南下し、20日にかけて西日本付近に停滞する見込み。台風15号は19日午後10時現在、鹿児島県奄美市の東南東約70キロをゆっくりと北北西に進んでいる。中心気圧は970ヘクパスカル、中心付近の最大風速は35メートル。21日に近畿地方に最も接近すると予想されるという。【堀江拓哉、深尾昭寛】



本州付近に秋

福島 IAEA総会 事故担当相が方針

【ウィーン会川晴之、樋口直樹】細野豪志原発事故担当相は19日、ウィーンの国際原子力機関（IAEA）本部で始まった年次総会で、東京電力福島第1原発の「冷温停止」の時期について、12年1月の目標期限を前倒しして「年内をめどに達成すべく全力を挙げる」と約束した。事故当事国として、事態の早期収束に向けた強い決意を示したものだ。（2面に関連記事）

細野氏は総会冒頭の政府代表演説で「事故の状況は着実に収束に向かっている」と強調。原子力安全規制体制の強化に向けた取り組みなども報告した。ただ、冷温停止の時期と警戒区域の見直しは、行政機関やインフラ整備、精密な放射線量測定など慎重な対応が必要と指摘。「警戒区域の変更・縮小ができるということでは必ずしもない」と、冷温停止と警戒区域の変更は、別問題との認識を示した。

細野氏は総会に先立ち、天野之弥IAEA事務局長と会談。全国の原子力発電所を対象に実施する安全評価（ストレステスト）と、除染について、IAEAの協力を求めた。天野氏は除染分野について、10月にも専門調査団を日本に派遣すると約束した。

ストレステストの実

三菱重にサ

防衛・原子力拠点 11カ

「三菱重工業」（東京都港区）の潜水艦などの生産拠点や本社など計11カ所のサーバーやパソコン計83台が、コンピューターウイルスに感染していたことが同社や捜査関係者への取材で分かった。外部から同社を狙った「標的型」と呼ばれるサイバー攻撃を受けたとみられるが、技術や製品情報の流出といった実害は確認されていないという。届け出を受けた警視庁は情報収集を始めた。（2面に関

同社によ

していたの

船所（神戸市

船所（長崎市

誘導推進シ

所（愛知県

古屋冷熱製

清須市）な

ーバー45台

38台。こう

は、潜水艦

いった防衛

力プラント上

コンを製造

同社の国内

毎日新聞
（第3種郵便物認可）
毎　日

日本全体で考えて／まだ隠しているのでは／「安全」うそだった

脱原発集会

避難者も叫び

東京都内で19日午後開かれた原発依存からの脱却を求める「さようなら原発5万人集会」やパレードには多くの市民が参加した。故郷の福島を離れて避難している人や、事故をきっかけに初めて問題意識を持った人も目立った。【長野宏美、山田奈緒】

福島県南相馬市を離れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっともっと関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心して暮らせないので戻れない」と訴える。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

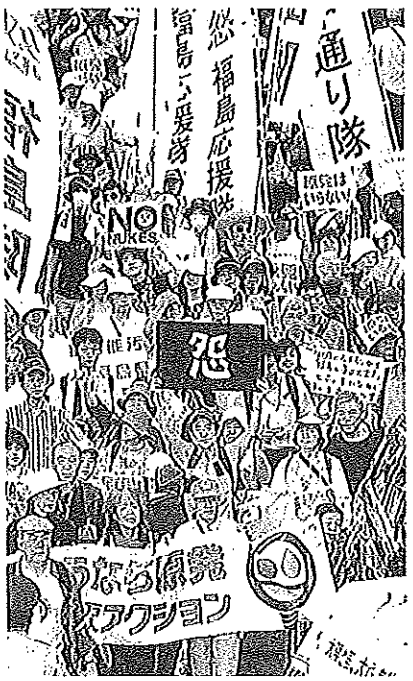
同県飯舘村から避難し、福島市の借り上げ住宅で暮らす女性(40)もバスで東京に駆け付け、パレードに参加。飯舘村で生まれ育ったが、第1原発のことは「小学生か中学生のころに社会科見学で行ったことがあるが、その後の日常生活で意識することは全然なかった」と振り返る。

原発事故後、夫と一緒に勤めていた村内の会社を「100％安全と言い切れない場所では働けない」と夫婦そろって退社。「原発に無関心だった自分への戒めの意味もあってデモに参加した。悔しさをぶつける場所はどこにもないが、せめて今日は大声で『原発はもういらない』と叫びたい」と話した。

同県郡山市から近所の主婦仲間と訪れた女性(72)は「街から子供の姿が消えた。公園や校庭に子供の元気な声が響く街に戻ってほしい」と参加。「国も東電も信じられない。都合の悪い情報をまだ隠しているのではないかと思える。こんなにも大勢の人が集まったのは、不信感の表れだと思う」と話した。

一方、東京都練馬区のパート、小川美樹さん(40)は「行動しないのが一番悪い」と思い、初めて参加。実家は静岡県富士市で浜岡原発は身近な問題。3月11日以降「原発は安全というのはうそだった」と不信感を募らせた。

埼玉県戸田市に住む妹が6月に女児を出産したが、外で遊ばせることにも不安を感じている。「子供の将来を考えると、原発を止めてほしい。同じ思いの人がたくさんいるのを見て、止められるんじゃないかと思った」と話した。



脱原発を訴えデモ行進する市民ら
＝東京都渋谷区で19日、小林努撮影

福島第1原発周辺の累積線量結果
（文部科学省調べ、18日現在）

浪江町津島仲沖（30キロ西北西）	30.79
浪江町赤宇木手七郎（31キロ北西）	73.12
飯舘村長泥（33キロ北西）	39.15（17日現在）
いわき市三和町差塩（39キロ南西）	0.631
葛尾村上野川（31キロ西北西）	10.48
福島市杉妻町（62キロ北西）	2.485

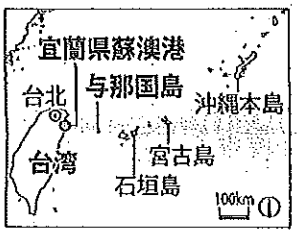
※単位はミリシーベルト。1ミリシーベルトは1000マイクロシーベルト。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月23日（福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日）からの値。

◆大気中の環境放射線量◆

都道府県	18日		
北海道	0.054	埼玉	0.053
青森	0.036	千葉	0.071
岩手	0.035	東京	0.070
宮城	0.071	神奈川	0.050
秋田	0.050	新潟	0.060
山形	0.100	山梨	0.058
福島	1.510	長野	0.082
		岐阜	0.066

「謝謝」伝えに遠

【蘇澳（台湾東部・宜蘭県）大谷麻由美】東日本大震災の被災地に義援金約200億円を寄せてくれた台湾の人々に日本から泳いで感謝を伝えたい――。17日早朝、日本最西端の沖縄県・与那国島から泳ぎ始めた日本の男性スイマー6人が19日午前10時（日本時間午前11時）、直線距離約110キロ西の台湾東部・宜蘭県蘇澳港までリレー形式で泳ぎ切った。発起人の神奈川県茅ケ崎市の会社員、鈴木一也さん(31)は砂浜に上がると「謝謝（ありがと



愛知の花火大会

愛知県日進市で18日夜にあった花火大会で、放射性物質の拡散を心配する声が市に寄せられたことを受け、

電話やメールで約2件寄せられたため、実行委が対応を協議。福島県の花火を作った同県川俣町の菅野煙火店が計画的避難区域の外にあることなどから当初は予定通り行う意向だ

い」とコメントした。

打ち上げ中止について、菅野煙火店の菅野恩夫社長(77)は「風評被害だ。花火を見てもらえないのは悔しい」と話した。【稲垣衆史】

人も含む約500人が参加した。会員の研究者からは「想像力が乏しかった」などと事故を防げなかった反省の弁が相次ぐ一方、原発推進の基本姿勢を問う

が独り歩きして結果的に改善が遅れた。専門家もあれほどの事故は起きないと過信があった」と批判の矛先を自らに向けた。

この後、研究者11人

「想像力を働かせなくていい環境があったのでは」などと安全神話に立って原子力を推進してきた自らの姿勢を戒める発言もあった。